土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名　一級河川太田川水系権地川支川通常砂防事業に伴う業務委託

事　業　・　工　事　名

調査目的及び調査対象　砂防　構造物基礎

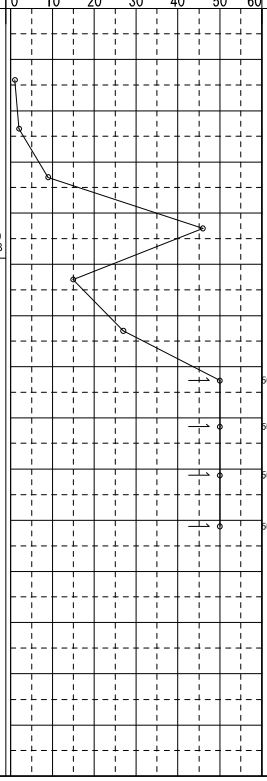
ボーリング名	B-Bor-2(R3)	調査位置	広島県広島市安佐南区長東町	北緯	34° 25' 45.4200"
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和4年 3月 7日～ 令和4年 3月 9日	東経	132° 26' 29.7808"
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 126.87m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	0°北 270°西 90°東 180°南
総削孔長	10.00m	地盤勾配	20° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦地下工機D1-B / エンジン：ヤンマー NFD12 / ポンプ：東邦地下工機BG-3

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事
1 2 3	123.27	3.60		砂		暗褐 / 褐～淡褐	rd1		非常に緩い砂からなる。 砂分は粒径不均一。 細粒分を不均質に含む。 深度0.4m付近まで植物根が多い。 深度2m付近、角礫が点在する。 径50mm前後。 深度3.3m以深、細礫を混入する。
4	121.92	4.95		玉石混り砂礫		淡灰	rd4		密な玉石混り砂礫。 コア長5～15cm前後の玉石主体で 径5～50mm前後の角礫を混入する。 砂分は粗粒砂やや優勢。
5	120.97	5.90		砂		淡褐灰	rd3		未固結の砂からなる。 砂分は粗粒砂やや優勢。 細礫を含む。
6	119.97	6.90		礫混り砂		淡褐	rd3		未固結の礫混り粘土質砂～礫質土。 径5～50mm前後の角礫を混入する。 砂分は粗粒砂やや優勢。
7 8 9 10	116.87	10.00		風化花崗岩		淡褐灰			花崗岩（軟岩相当）。 岩組織を明瞭に残すが岩芯まで風化が進行する。 岩片はハンマー打撃で濁音を発して、砕ける程度。 網状に亀裂が発達する。 深度方向へ次第に固結する。
11 12 13 14 15									

孔内水位／測定月日：3/9 4.88

標準貫入試験

深度―N値図



N値	深度 (m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
1	1.15	1 / 500			1 / 500		
2	1.65 / 2.15	1 / 200	1 / 200		2 / 400		
9	2.65 / 3.15	1	4	4	9 / 300		
46	3.65 / 4.15	12	13	21	46 / 300		
15	4.65 / 5.15	5	5	5	15 / 300		
27	5.65 / 6.15	9	11	7	27 / 300		
50以上	6.65 / 7.15	12	21	17 / 40	50 / 240	240	
50以上	7.65 / 8.10 / 8.25	25	25 / 50		50 / 150	150	
50以上	9.05 / 9.20	23	27 / 50		50 / 150	150	
50以上	10.05 / 10.19	20	30 / 40		50 / 140	140	

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
				3/8
				3/9